

安城支線 ~ 確かにここを電車が走った! ~ 桜林5年 二村旬太郎



研究の動機

ぼくは低学年のころから鉄道が好きで、名鉄の本を読んでいると、昔、「安城支線」という路線があったことを知りました。名鉄の南安城駅からJR安城駅の間を結んでいたことが分かり、この路線について、もっと知りたいと思ったので、調べてみることにしました。

インターネットで調べた安城支線の基本情報

- 「碧海電気鉄道」という会社がつくった路線。
→ 今の名鉄西尾線(新安城~西尾)の区間で運行。
- 営業キロは、1.1km。
- 現在のJR安城駅のとなりにあった安城支線の駅名は新安城駅。
- 1939年12月 戦時貨物ゆ送のための貨物営業を開始した。
- 1950年10月 第5回国民体育大会が安城で行われた時、1日5時間だけ旅客営業を行った。
- 1951年3月から正式に旅客営業を開始した。
- 1961年7月 安城支線はいし。(Wikipediaより)

ぼくのぎ問

- どこに線路があったのかな?
- 貨物営業をしていたというけれど、何を運んでいたのかな?
- 今のJR安城駅や名鉄南安城駅の近くに体育館やグラウンドはないけれど、第5回国民体育大会は、どこで何の種目が行われていたのかな?
- どんな車両が走っていたのかな?
- なぜはいしになったのかな?

調査のしかた

ぎ問① 線路があった場所

- 安城支線があったころの地図と今の地図をくらべてみよう!
- 本で調べてみよう!
- 現地に行き、鉄道のおもかげをさがしてみよう!

ぎ問② 貨物営業で運んでいた物

- 本やインターネットで調べてみよう!
- 運んでいた物の産地や何に使われていたかなどを調べてみよう!

ぎ問③ 1950年の国体が行われた場所と種目

- 本で調べてみよう!
- 昔の地図で、体育館やグラウンドがあったのかを調べてみよう!
- 国体が行われた場所に行き、当時のおもかげをさがしてみよう!

ぎ問④ 走っていた車両

- 本やインターネットで調べてみよう!
- リニア・鉄道館に行き、同じような車両をさがしてみよう!

ぎ問⑤ はいしになった理由

- 本やインターネットで運行の様子や利用者について調べてみよう!

調査

ぎ問① 線路があった場所について

ぼくの考え

はいしになったのは、家などの建物や道路に転用されていることが多いので、安城支線があった場所も別の使い方がされていて見つけられないんじゃないかな。

調査① 昔の地図と今の地図をくらべてみた!

「名鉄の支線、廃線上巻」(生田誠)にのっていた1960年の地形図と現在の地形図をくらべてみると、安城支線だった場所が、今は道路になっていることが分かりました。

また、インターネットで見つけた1961年の航空写真と、現在の航空写真(Google Earth)をくらべてみることにしました。くらべてみると、安城支線のカーブの部分が、今の道路とぴったり重なりました。



調査② 本で安城支線の場所について調べてみた!

アソフォレに行き、本で調べたら、次のことが分かりました。
名鉄南安城駅から西尾線に沿って北上 → ゆるやかにカーブして東海道本線と並走して安城駅に向かっていた。国鉄東海道線とは、東いり、みち野付近で合流していた。

→カーブの線形はそのまま道路として残っている。
 南安城駅の高か下西側、駐車場付近に安城支線の南安城駅があった。
 東いなりふみ切の西側、JR東海道本線の南側の駐車場にな、ている
 ところに安城支線の線路があった。今の新安城駅は、昔は
 JR安城馬尺東側のうどん店「梅屋」
 のうらの空き地あたりに安城支線の馬尺があった。
 →安城支線ができたころ、この馬尺は「新安城駅」という名前だった。



地点E 東いなりふみ切西の馬主車場



写真の馬主車場のところを安城支線が走、ていました。
 JR東海道本線が追田川を渡るところで線路の
 橋げたのあとのような物を見つけました。もしかしたら、
 安城支線の線路のあとじゃないかと思いました。



地点F うぶん屋「梅屋」うらの空き地



ここに安城支線の「新安城馬尺」があったようです。
 今は空き地になっています。下がアスファルトに
 な、ていて、さくで困まっていたので、今はここを
 何に使、ているのかなと思いました。



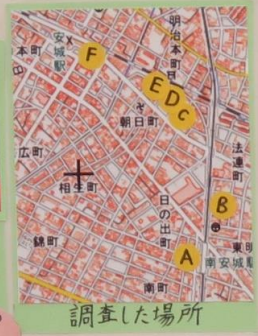
調査① 現地に行、て、鉄道のおもかげをさがしてみた!

安城支線があった場所が分かったので、実際に
 歩いて鉄道のおもかげをさがしてみました。

地点A 南安城駅西側の駐車場



ここに安城支線の南安城駅
 があったようです。
 今は高か化されて、
 そのおもかげは感じられません。



地点B 南安城駅の北



安城支線の線路があ、たと思われる所
 は、今は西尾線の高か土手や道路にな、てい
 ました。
 当時の写真を見ると、西尾線とへい走して、
 いく線のようにな、ていたことが分かります

地点C カーブしているところ



昔の写真の安城支線と同じように、**確かに道
 路がカーブしていました。**電車は角を曲がる
 ことができな、いので、この道路の形の通りに線路
 があ、ただらうと思いました。

地点D 東いなりふみ切



いなり神社の林をバックに走る車両の写真を
 見つけました。今は家がた、くさん建、ていて、同じ
 所とは思、えません。神社の木が大きくな、ていて
 多くの時間がた、ったことを感じました。安城支
 線は、このあたりから西に国鉄東海道線と並走して、
 いました。

思ったこと

今は建物が増、えて、昔の写真とは町の様子も変わ、ていますが、道路か線路
 の形のま、つくられていた、り、追田川の橋げたか残、っていた、りしたの、は、び、くりしました。
 安城支線が確かにここを走、っていたんだ、なと実感できました。

質問① 貨物営業で運、っていた物について

ぼくのかえ

貨物営業を開、始、めた1936年は戦争中、で、「戦時輸送」ということだから、戦争に
 必要、な鉄を運、んでいたんじゃないかな?



調査② 運、っていた物を本で調べてみた!

安城支線の貨物営業で運、っていたものを本で言、周、べましたが、分、かりませ、んでし
 た。そこで、インターネットで言、周、べてみると、東幡豆周、辺、でとれる花こう岩という
 石を、蒲郡線→西尾線→安城支線と運、び、安城馬尺で、
 国鉄に引き渡、していたことが分、かりました。でも、安城支線
 から国鉄にのせられた花こう岩がど、こへ行き、どのよう、に
 使、われたのかは分、かりませ、んでした。

名鉄に
 貨物列車が??

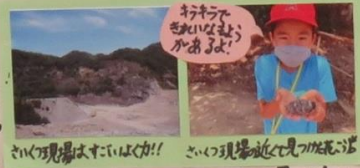


花こう岩はみか、けて光、て長持、ちする、ので、建、ち、く材料として使、われて
 いるそ、うです。リ、ハ、なビルのかべやキッチンカウ、ンター、お、は、かに使、
 われた、り、庭園に置、かれた、りします。国会議、事、堂のかべにも
 使、われているそ、うです。

東幡豆でとれる花こう岩は「幡豆石」とよ、ば、れ、名古屋城の石かきにも使、われて、
 いることが分、かりました。東幡豆周、辺、では、今、も幡豆石のさい、く、つを、し、て、海、や、川の石積、み
 して使、われて、いることが多、いそ、うです。今は東幡豆港から船、で運、び出、して、
 います。

調査⑤ 東幡豆に行ってみた!

西尾市東幡豆町では今もまだ花こう岩をとっているということが分かったので調べて行ってみました。



さかの現場はすばいばか!! さかの現場はすばいばか!!



東幡豆港 大きな石の積み出し

名鉄東幡豆駅から少しはなれた所で石をほっている場所がありました。この日は作業をしていませんでしたが、山はだかげざられていたり、大きなショベルカーが置かれていたりしました。

東幡豆港に行ってみると大きな石がたくさん置いてある所がありました。ここから幡豆石を運び出しているのだと思います。

思ったこと

幡豆石をさいくつしているところの近くには、きれいなもようの花こう岩のかげらがたくさん落ちていました。この石を安城支線から国鉄にのせて、全国どこへでも運べるようになったのだと思いました。昔は名鉄に貨物列車がまわっていたと知って、見てみたかったなと思いました。今は鉄道に代わって船で運んでいることが分かりました。



質問③ 1950年の国体が行われた場所と種目について

ぼくの考え

まだそのころは、安城駅の周りに建物が少なく、大きなグラウンドもあったんじゃないかな。学校のグラウンドや体育館が使われたのかもしれない。東京オリンピックでカナダのソフトボールチームが安城に来ているし、安城はソフトボールがとんだという話を聞いたことがあるので、1950年の国体でもソフトボールが行われたんじゃないかな。



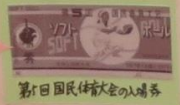
調査④ 1950年の国体について本で調べてみた!

安城市体育協会の周年記念の本「カ間」に、1950年「第5回国体秋季ソフトボール競技」についての記録がありました。

日時: 10月28日~11月1日 安城公園!!
場所: 安城公園陸上競技場
参加: 高校女子16チーム 教職員(男女混合)8チーム
一はん女子8チーム
閉会式: 三かこの宮ご夫妻が出席
ゆう勝: 明善高校 名古屋教員 鐘紡西大寺



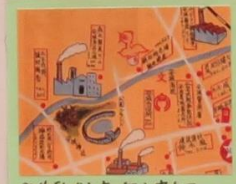
第5回国体秋大会の様子



第5回国体秋大会の入場券

ソフトボールが初めて国体の正式種目として行われたことが分かりました。安城市のホームページ「市長のページ」を見ると、「日本初のソフトボール公式試合」と書かれていました。

調査⑦ 昔の地図でグラウンドがあった場所を調べてみた!



1956年安城市商工観光案内図

「安城市商工観光案内図」という1956年の資料を見ると、現在安城公園がある安城神社の北側に「競技場」のような絵と「公園グラウンド」という文字を発見しました。



1966年住宅地図

また、1966年の住宅地図で安城公園のある場所を調べてみると、市役所は建ちくち中だったことが分かりました。そして、その周りには点線で陸上競技場のトラックのような図がかいてありました。これは、ここにグラウンドがあったように思いました。

安城支線は、西尾線を使うお客さんが、競技場で行われている国体を見に行きやすいように、りん時で旅客中送を行っていたと分かりました。

調査⑧ 安城公園に行ってみた!

安城公園や市民会館市役所の周りを歩いてみました。でも、国体が行われたと分かるものは見つかりませんでした。



安城公園陸上競技場 安城神社の北からの眺め



ホームベースは、さこのあたり この馬車場のところにスタンドがあったんだ

写真と住宅地図を手がかりに考えると、ホームベースは市民会館の入り口の近くだと思います。また、市役所の前の馬車場のあたりにスタンドがあったのではないかと思います。



安城駅と道!!

安城公園から、JR安城駅まで歩いてみると、約8分30秒で行くことができました。南安城駅から安城公園まで歩くのは大変だけど、安城駅からなら近く便利だと思いました。だから、第5回国体の時には、きっと多くの方が安城支線の電車に乗ったと思います。

思ったこと

ぼくも西野子でも会に入ってからやっているソフトボールの日本初の公式戦が行われたのが安城だと知ってすごいことだと思います。今の市役所の場所に競技場があったら、想像もしませんでした。安城市がソフトボールの町になるのに、安城支線もかがいで支えていたのかなと思いました。



質問④ 走っていた車両について

ぼくの考え

短い区間だからお客さん少ないだろうし、大きなカーブがあるので、1両編成の小型車両が走っていたんじゃないかな。



調査⑧ 安城支線の車両を本で調べてみた!

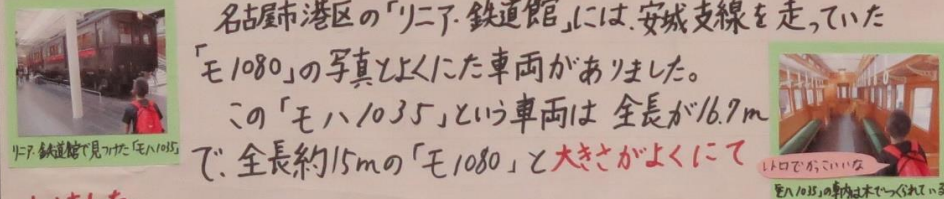
旅客営業していた車両は、「モ85」と「モ1080」という車両だったことが分かりました。「モ85」は大正天皇が乗車することを想定してつくられた**貴族車**をつくりかえた車両だそうです。「モ1080」は、今の名鉄三河線の区間を走っていた三河鉄道がつくった車両だということが分かりました。



車両の全長は「モ85」が約9m、「モ1080」は約15mで、現在の列車の車両は約18~20mなので、安城支線の車両は**小型**だといえます。そして、写真から分かるように、**1両編成**で走っていたようです。

調査⑩ 「リア・鉄道館」に行き、同じような車両をさがしてみた!

名古屋市港区の「リア・鉄道館」には、安城支線を走っていた「モ1080」の写真とよく似た車両がありました。この「モハ1035」という車両は全長が16.7mで、全長約15mの「モ1080」と**大きさがよく似て**



いました。「モハ1035」のせいぞう年は、1921年となっていました。後でインターネットで調べたら、安城支線の「モ1080」は、1926年にせいぞうされていて、**同じような時代につくられた**と分かりました。

でも、「モ85」に似た車両はありませんでした。大きさとしては、3年生の時に行った名鉄美濃町線(現在ははい線)の旧美濃駅にあった車両に近いのかなと思いました。



思ったこと

思った通り、1両の小型車両が走っていました。「リア・鉄道館」で「モ1080」に似た車両を見つけて、こういう車両が安城支線を走っていたんだと実感できてうれしかったです。でも天皇陛下が乗るためにつくられたものをつくりかえた「モ85」とはどんな車両だったのか、見てみたくなりました。



質問⑤ はい系線になった理由について

ぼくの考え

名鉄と国鉄は別の会社だから、安城支線で乗りかえができる。お客さんがとられてしまうから、少ないかな。営業キロ1.1kmは歩いて、いけるキロなので、利用者が少なかったからじゃないかな。

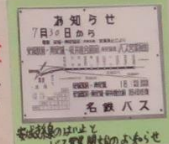


調査⑨ 運行の様子や利用者について本で調べてみた!

本で調べてみると、次のようなことが分かりました。名鉄・南安城馬尺と国鉄・安城馬尺のきよりは、足の速い人なら約12分歩けるので、はい止されてもさほど不便さはなく、**利用客はあまり多くなかった。**

名鉄には南安城馬尺、国鉄安城馬尺に近い北安城馬尺があり、国鉄安城馬尺との連らくにあまり不便はなかった。**鉄道があまり便利だと思われない時代になったってことだね。**時とともに**鉄道のゆうい生**が失われていく時代だった。

はい線となった後はバスに切りかえられたが、安城支線は1日18本だったのに対し、バスは1日**34本も**運行されていた。



鉄道ではなく、バスなら乗る人が多かったということかな?



安城支線南安城馬尺時刻表 本数の少ない

写真の時刻表は、安城支線南安城馬尺の時刻表です。本数が少なく、昼間は約3時間電車が走っていない時間があります。これは乗る人があまり多くなかったからではないかと思いました。

調査⑫ 安城駅~南安城馬尺、安城駅~北安城馬尺を実際に歩いてみた!

安城馬尺から南安城馬尺まで歩いてみると、約11分半かかりました。暑い日だったので少しつかれたけど、歩けないキロではないなと思いました。本数が少ない安城支線の電車に乗るには待ち時間もあり、そういう時間も考えると**歩いた方が早い**かもしれません。

安城馬尺から北安城馬尺に歩いてみると約7分で行くことができました。1本道でよけずに行けます。実際に歩いてみると、**思ったよりも近く感じました。**このきよならあまり不便だと思わずに歩けると思いました。だから、安城支線を使わずに、北安城馬尺から歩くというのもいいなと感じました。実際、この調査をした時北安城馬尺から安城馬尺に歩いて行くお客さんがいました。



安城馬尺(北口)出所!! 北安城馬尺とう着!!

思ったこと



安城支線は止の後「名鉄バス」が走っているというはお客様がとられてしまうという理由ではなかつたんだと思います。バスに切りかえた後、本数がすく増えたということは南安城駅と安城馬尺を行き来する人が、たわけではないと思います。さつと鉄道よりもバスの方が便利だと思われようになつたんだと思います。お客様は安城支線をあまり便利に思わなくなつてきたのだと思います。線路がなくとも走れるバスはあまり用がかからないのかなと思つた。

研究を終つて

安城支線があつたことは前から知つていたけれど、今までそこに行く機会がなかつたので、どんな所を走つていたか気になつていました。実際に線路があつた所を歩いたり、競技場があつた場所に行つてみると、昔の風景が想像できて楽しかつたです。

ぼくは鉄道が好きなので、安城支線に本当に電車が走つてるところを見てみたかたと思つて、はい線になつてしまつたのはとても残念です。

安城支線は、幡豆石を運ぶのに便利でした。国体の会場にお客様を運ぶのに便利でした。でも、鉄道よりもバスの方が便利だつた時代になつて、はい線になりました。古いものがなくなつてしまうのはさみしいけれど、安城支線は、安城がもっと便利になるためにつくられ、そしてなくなつたのだと思つた。



貨車引掛モ85

とても楽しく調べることができました。

参考文献

- 「企画展 汽笛一聲 安城馬尺120年」
安城市歴史博物館 2011年
- 「名鉄の支線 廃線 上巻」
生田誠 2020年
- 「名鉄の廃線を歩く」
徳田耕一 2004年
- 「ふるさとの思い出 明治大正昭和 安城」
神谷素光 1979年
- 「力闘 体協30年のあゆみ」
安城市体育協会 1977年
- 「安城市住宅明細図」
盟邦出版社 1966年
- 「科学キャラクター 図鑑 岩石と鉱物」
小原芳明 2010年